

節目を祝い決意新たに

◎愛媛県立北宇和高等学校創立70周年記念式

11月8日、愛媛県立北宇和高等学校の創立70周年記念式が同校体育館で開催され、生徒、教職員、卒業生ら約430人が出席しました。

式では、福岡孝男校長が「創立以来、安定感のある教育を進めてこられたのは、ご理解ご協力をいただいた地元の皆さん、歴代教職員、同窓会、PTAのおかげ。今後も、生徒、教職員一同が心を一つにし、元気のある学校づくりに精進したい」とあいさつ。生徒を代表して、伊藤亜希さんが「先輩方が築いてこられた伝統を守るだけでなく、



▼式辞を述べる福岡校長

さらに育て、飛躍させることが私たちの使命。これからは新しい歴史を刻めるよう努力したい」と謝辞を述べました。

式典後は、普通科第7回卒業生で日本郵船の元船長である宇都宮康博さんが「船長、母校へ帰る」と題して講演。船が果たす役割や船のしくみなど、自身の体験談を交えながら話し、「いずれ社会に出るときがくるが、夢や目標を実現するために努力と準備が必要。物事の価値が分かる人間になってほしい」と生徒にエールを送りました。



▼講演する宇都宮康博さん

県内外のサッカークラブが集う

◎鬼北ライオンズ杯・旗争奪サッカー大会

▼ゴールを狙う近永スポーツ少年団の田中選手（中央）



鬼北町スポーツ少年団が主催するサッカー大会が11月1日と2日、鬼北総合公園グラウンドで開催され、県内外から13チームが参加しました。開会式では、近永スポーツ少年団主将の森野誠也くんが「日頃の練習の成果を発揮し、正々堂々とプレーすることを誓います」と力強く宣誓。大会は

小学6年生の部と3・4年生の部に分かれて行われ、選手は巧みなドリブルや鋭いシュートを見せるなど練習で磨いた技術で熱戦を繰り広げました。会場には、多くの保護者や関係者が訪れ、選手の懸命なプレーに温かい声援を送っていました。

シャトル緩急自在に熱戦

◎第4回鬼北オープンバドミントン大会

10月12日、鬼北総合公園体育館でオープンバドミントン大会が開催され、近隣市町から愛好者が参加しました。大会は、参加者のレベルに応じて8部門で実施。参加者は、日頃の練習の成果を出し、好試合を繰り広げました。

【男子】▼一部①林正俊・山中吏（オリーブ）②山下

博之・村上曜介（IBF）▼二部①小山浩之・城山勝巳（ピエロ）②高橋正敏・今城裕希（ピエロ）▼レクリエーションの部①西田祐介・松山篤志（ピエロ）②松本秀治・谷岡一仁（野武士）

【女子】▼二部①森田文子・細川紗知（IBF）②松瀬純子・城山由美（ピエロ）

▼レクリエーションの部①土居由美・土居弘実（西土佐青年団）②加藤絵里菜・田中加代（IBF）

【混合】▼一部①花岡敏美・丸山明理紗（IBF）②沖田健治・武田聡美（広バド）▼二部①芝潤・細川紗知（IBF）②城山勝巳・松瀬純子（ピエロ）▼レクリエーションの部①今城裕希・今城裕子（ピエロ）②山中康世・土居弘実（西土佐青年団）